

グローバル・スペース株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)

運用報告書 (全体版)

第7期 (決算日 2024年12月9日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル・スペース株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)」は、2024年12月9日に第7期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2021年6月9日から2049年6月7日までです。	
運用方針	主として、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・スペース株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)	「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・スペース 株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式 (預託証券を含みます。) を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・スペース株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・スペース 株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 基準価額水準が1万円 (1万口当たり) を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は
「アモヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。
社名変更後URL: www.amova-am.com

<645036>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス (配当込み、円ヘッジあり、円ベース)		株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配 金	期騰 落 率	(参考指数)	期騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
3期(2022年12月7日)	5,932	0	△18.1	98.50	0.7	95.7	297
4期(2023年6月7日)	6,486	0	9.3	103.31	4.9	98.8	339
5期(2023年12月7日)	6,352	0	△2.1	112.18	8.6	95.0	289
6期(2024年6月7日)	6,365	0	0.2	133.97	19.4	96.8	223
7期(2024年12月9日)	8,123	0	27.6	140.26	4.7	94.8	293

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は、ファクトセット社が開発した世界の宇宙・衛星関連企業の株式で構成された指数です。主に1）商業航空宇宙機器製造、2）防衛航空宇宙機器製造、3）衛星製造業者およびサービス・プロバイダー、4）実現技術サプライヤー関連企業を中心としています。なお、設定時を100として2024年12月9日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス (配当込み、円ヘッジあり、円ベース)		株式組入比率
	騰落率	騰落率			
(期首)	円	%		%	%
2024年6月7日	6,365	—	133.97	—	96.8
6月末	6,226	△2.2	130.30	△2.7	98.9
7月末	6,276	△1.4	134.76	0.6	93.9
8月末	6,333	△0.5	139.29	4.0	97.4
9月末	6,694	5.2	139.65	4.2	98.3
10月末	6,772	6.4	139.67	4.3	100.4
11月末	7,979	25.4	139.66	4.2	94.8
(期末)					
2024年12月9日	8,123	27.6	140.26	4.7	94.8

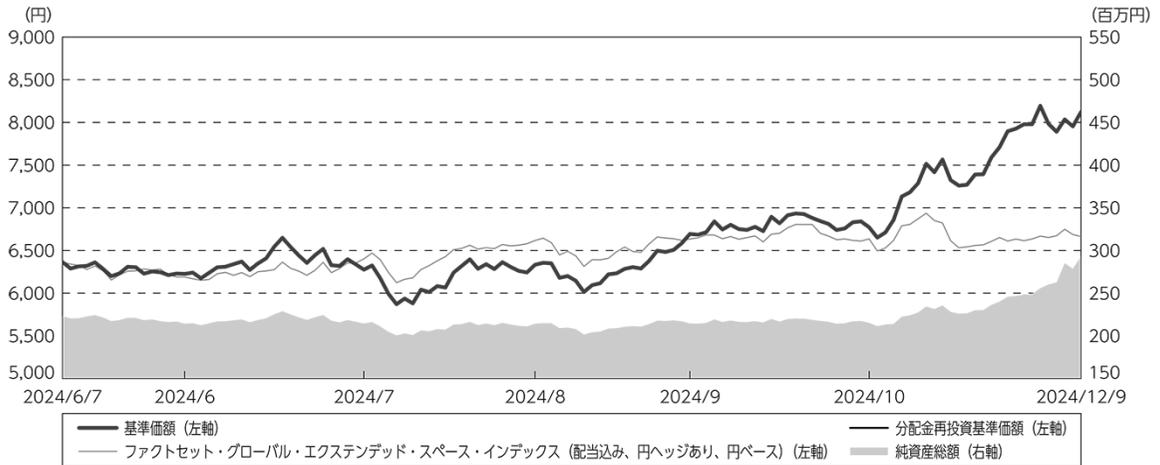
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2024年6月8日～2024年12月9日）

期中の基準価額等の推移



期 首：6,365円

期 末：8,123円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：27.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は、期首（2024年6月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国の主要株価指数が過去最高値を更新するなど、先進国において株式市場が好調に推移したこと。
- ・衛星技術に対する依存度や、宇宙イノベーションへの新たな関心が高まったこと。
- ・世界的な緊張の高まりにより政府の防衛費が増加していること。

＜値下がり要因＞

- ・中国の景気後退や中東情勢の悪化に対する懸念が市場の重しとなったこと。
- ・一部の企業において決算発表で業績の鈍化が見られ株価に影響したこと。
- ・金利上昇や資金調達環境の厳しさが宇宙開発など資本集約型産業に影響を及ぼしたこと。

投資環境

（株式市況）

米国連邦準備制度理事会（FRB）が2024年9月に利下げを実施して他の主要中央銀行に続くなか、株式市場はほぼ全地域で上昇しました。インフレ指標は、消費者物価指数（CPI）が予想の範囲内にとどまるなど、鈍化しています。日銀が利上げを実施して顕著に例外的な動きを見せると、世界のボラティリティ（変動性）が一時的に高まりました。期間の終盤にかけては、米国の大統領選挙の結果を受けて、規制の緩和や税負担の軽減に対する期待が市場全体の追い風となり、市場は大幅に上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

なお、実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないました。

（グローバル・スペース株式マザーファンド）

期間中の主な投資行動としては、人工知能（AI）ハードウェア市場の大部分を獲得していくとみているアドバンスド・マイクロ・デバイセズ（半導体・半導体製造装置）を新規に組み入れました。宇宙のテーマにおいて、AI技術の宇宙分野への活用が重要視されており、AIワークロードの拡大は重要な基幹技術であることから、加速するコンピューティングの供給を分散化できる同社の能力は不可欠といえます。当ファンドでは、航空宇宙や防衛ソリューションの両方を支える同社のデータセンターや最先端のコンピューター・アプリケーションを有望視しています。さらに、米国半導体メーカーの買収によって、現場で回路の書き換えが可能な集積回路であるFPGAの能力を高めており、この分野で大きく貢献していく体制を強化していると評価しています。

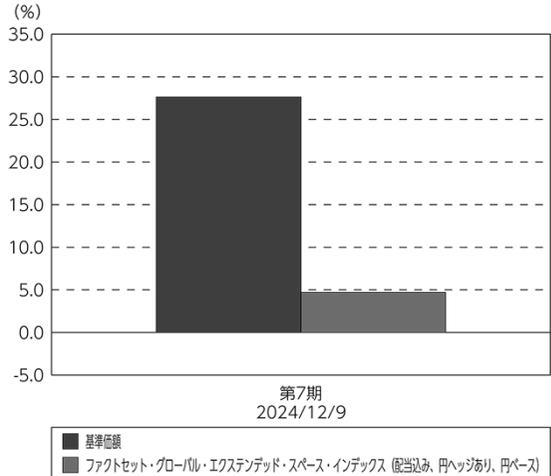
また、より確信度の高い銘柄へ投資するためにユニティ・ソフトウェア（ソフトウェア・サービス）の保有を解消しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。
 (注) ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第7期
	2024年6月8日～ 2024年12月9日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	43

- (注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

なお、実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。

（グローバル・スペース株式マザーファンド）

当ファンドでは、宇宙産業は「離陸」目前と考えています。かつては独占企業主体且つ官僚的な業界でしたが、ロケットと人工衛星にかかるコストの下落により、現在ではそれが根底からくつがえされようとしています。ディープ・ラーニング（深層学習）、モバイルコネクティビティ（無線接続）、センサー、3Dプリンティング、ロボット工学などの進歩の結果、これまでは増加していた事業コストが減少に転じ始めており、これらによって、今後は人工衛星の打ち上げや、着陸が可能なロケットの開発などが劇的に増加する可能性があります。実際、地球の周回軌道に打ち上げられ作動している人工衛星は、2022年末時点で5,000基をわずかに超えるほどですが、企業が今後10年間に打ち上げを計画している人工衛星は、すでにその10倍近くに達しています。衛星利用測位システム（GPS）ナビゲーションからクレジットカードの迅速なオーソリゼーション（利用枠確認）まで、人工衛星を経由するデータはすでに人々の目に見えないところで日常生活の基盤になっており、先進的な宇宙・衛星技術が提供するソリューションへの依存度は、これからますます高まることになるとみています。当ファンドでは、物流や警備、農業、電気通信、ドローンなどのシステムを劇的に変革し、そして、人類を火星に送り込むことまでも予想されているこの新しい宇宙時代へと人々を導く企業に投資し、その成長を享受したいと考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年 6 月 8 日～2024年12月 9 日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	65	0.976	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(32)	(0.474)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(32)	(0.474)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.030	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.030)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.002)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.066	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(3)	(0.048)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合 計	71	1.074	
期中の平均基準価額は、6,713円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

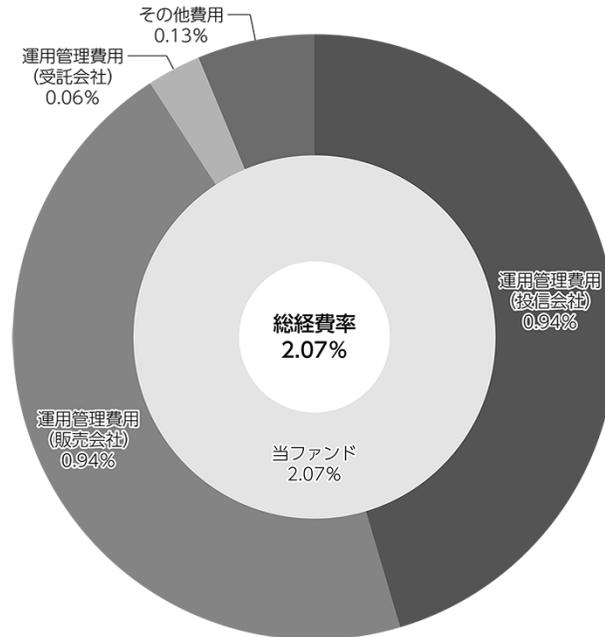
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.07%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年6月8日～2024年12月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル・スペース株式マザーファンド	千口 30,281	千円 64,167	千口 28,562	千円 57,111

○株式売買比率

(2024年6月8日～2024年12月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	グローバル・スペース株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	23,264,088千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	44,567,795千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.52	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月8日～2024年12月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年6月8日～2024年12月9日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年6月8日～2024年12月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年12月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・スペース株式マザーファンド	114,098	115,817	280,196

(注) 親投資信託の2024年12月9日現在の受益権総口数は、18,541,933千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年12月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・スペース株式マザーファンド	280,196	92.6
コール・ローン等、その他	22,520	7.4
投資信託財産総額	302,716	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・スペース株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(43,471,130千円)の投資信託財産総額(48,940,941千円)に対する比率は88.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=149.85円、1ユーロ=158.20円、1香港ドル=19.26円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年12月9日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	571,153,964
コール・ローン等	12,598,932
グローバル・スペース株式マザーファンド(評価額)	280,196,987
未収入金	278,357,964
未収利息	81
(B) 負債	277,918,496
未払金	268,442,498
未払解約金	7,219,253
未払信託報酬	2,145,414
その他未払費用	111,331
(C) 純資産総額(A－B)	293,235,468
元本	360,981,576
次期繰越損益金	△ 67,746,108
(D) 受益権総口数	360,981,576口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,123円

(注) 当ファンドの期首元本額は350,512,019円、期中追加設定元本額は62,468,862円、期中一部解約元本額は51,999,305円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.8123円です。

(注) 2024年12月9日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は67,746,108円です。

○損益の状況（2024年6月8日～2024年12月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	6,606
受取利息	6,606
(B) 有価証券売買損益	56,383,387
売買益	82,933,015
売買損	△26,549,628
(C) 信託報酬等	△ 2,268,751
(D) 当期損益金(A+B+C)	54,121,242
(E) 前期繰越損益金	△83,213,943
(F) 追加信託差損益金	△38,653,407
(配当等相当額)	(212,634)
(売買損益相当額)	(△38,866,041)
(G) 計(D+E+F)	△67,746,108
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△67,746,108
追加信託差損益金	△38,653,407
(配当等相当額)	(224,331)
(売買損益相当額)	(△38,877,738)
分配準備積立金	1,342,556
繰越損益金	△30,435,257

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2024年6月8日～2024年12月9日の期間に当ファンドが負担した費用は657,837円です。

(注) 分配金の計算過程（2024年6月8日～2024年12月9日）は以下の通りです。

項 目	2024年6月8日～ 2024年12月9日
a. 配当等収益(経費控除後)	706,064円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	224,331円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	636,492円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,566,887円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	43円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2024年6月8日から2024年12月9日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

- 当ファンドについて、2024年9月7日付けにて運用における参考指数の表記を「FactSet Global Extended Space Index（配当込、円ヘッジベース）」から「ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジあり、円ベース）」に変更いたしました。なお、上記変更は表記の明確化を意図したものであり、参考指数のデータ自体は従前のものから変更ございません。
- 日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル・スペース株式マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日 2024年6月7日）
（2023年6月8日～2024年6月7日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2018年8月13日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、宇宙関連ビジネスを行なう企業および宇宙関連ビジネスの恩恵を受ける企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<638943>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FactSet Global Extended Space Index (配当込、円ベース)		株組入比率	純資産額
	騰落	中率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%	百万円
2期(2020年6月8日)	12,260	20.0	93.66	△ 4.4	98.3	1,604
3期(2021年6月7日)	18,233	48.7	119.84	28.0	99.6	30,516
4期(2022年6月7日)	15,980	△12.4	142.85	19.2	99.5	60,083
5期(2023年6月7日)	16,103	0.8	165.68	16.0	99.5	57,274
6期(2024年6月7日)	19,052	18.3	254.08	53.4	99.3	48,079

(注) FactSet Global Extended Space Indexは、ファクトセット社が開発した世界の宇宙・衛星関連企業の株式で構成された指数です。主に1) 商業航空宇宙機器製造、2) 防衛航空宇宙機器製造、3) 衛星製造業者およびサービス・プロバイダー、4) 実現技術サプライヤー関連企業を中心としています。なお、設定時を100として2024年6月7日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		FactSet Global Extended Space Index (配当込、円ベース)		株組入比率
	騰落	率	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2023年6月7日	円	%		%	%
	16,103	—	165.68	—	99.5
6月末	17,648	9.6	178.47	7.7	99.5
7月末	17,317	7.5	178.44	7.7	99.6
8月末	17,284	7.3	185.63	12.0	99.6
9月末	16,482	2.4	179.46	8.3	99.5
10月末	15,504	△ 3.7	179.50	8.3	99.6
11月末	17,037	5.8	190.84	15.2	99.5
12月末	17,830	10.7	196.49	18.6	99.5
2024年1月末	17,308	7.5	205.85	24.2	99.6
2月末	17,461	8.4	220.87	33.3	99.4
3月末	18,150	12.7	235.99	42.4	99.3
4月末	18,803	16.8	244.01	47.3	99.1
5月末	19,022	18.1	253.59	53.1	99.2
(期末) 2024年6月7日	円	%		%	%
	19,052	18.3	254.08	53.4	99.3

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年6月8日～2024年6月7日)

基準価額の推移

期間の初め16,103円の基準価額は、期間末に19,052円となり、騰落率は+18.3%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・航空宇宙・防衛セクターにおける銘柄が好調に推移したこと。
- ・人工知能（AI）の急速な発展により、半導体製品の需要が創出されたこと。
- ・世界の株式市場が好調に推移したこと。また、アメリカドルなど主要通貨に対して円安が進んだこと。

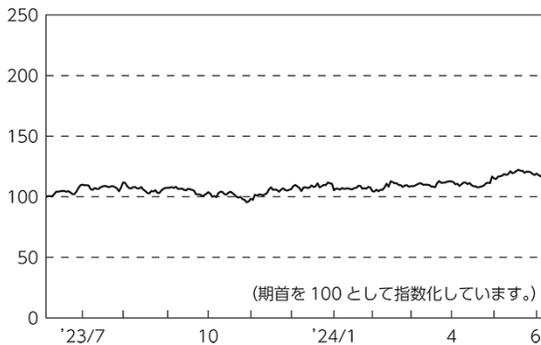
<値下がり要因>

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）議長が高金利政策の長期化を示唆するなど、市場で高金利の長期化懸念が広がったこと。
- ・一部の保有銘柄において業績が市場予想を下回り、株価が低迷したこと。
- ・3Dプリンティング業界における統合が、競争激化や価格圧力の高まりにつながったこと。

基準価額の推移



基準価額（指数化）の推移



FactSet Global Extended Space Index (配当込、円ベース) (指数化) の推移



(株式市況)

株式市場は、強弱入り混じる経済の兆候やFRBの次の政策動向を巡る見通しに左右される展開となり、ボラティリティ（価格変動性）の高い市場環境となりました。経済指標や雇用指標が堅調を維持する一方、インフレ指標は徐々に減速し始めました。高金利が長期にわたって継続するとの懸念や消費者心理が低迷するかもしれないとの懸念が重しとなったものの、株式市場は逆風を乗り越って上昇しました。米国の超大型テクノロジー企業を中心とした収益の底堅さが追い風となりました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



ポートフォリオ

期間中の当ファンドの基準価額は、上昇しました。アクティブ運用を行なう当ファンドでは、マクロ経済の状況を引き続き見通してポジションを適宜縮小・集約していく方針です。通常、市場が大幅に下落する局面でポートフォリオを集約し、市場が拡大する局面で銘柄数を増加しますが、足元の保有銘柄数を考慮すると、ポートフォリオをさらに集約することは考えていません。

期間中の主な投資行動としては、パランティア・テクノロジーズ（ソフトウェア・サービス）を新規に組み入れました。同社が提供するAIプラットフォームは差別化されており、迅速な実行ができることから、商業売上の伸びは加速する兆しを見せています。加えて、政府向けウェブサービス事業を立ち上げており、高度な情報セキュリティとコンプライアンスのより迅速な実現を支援することで、民間セクターに販売を行なうテクノロジー企業のより広範なサプライヤーになることができるとみています。足元ではキャッシュフローが大幅に拡大しています。

一方、スピリット・エアロシステムズ・ホールディングス（資本財）とVelo3D（資本財）については、より確信度の高い銘柄へ投資するために保有を解消しました。

○今後の運用方針

当ファンドでは、宇宙産業は「離陸」目前と考えています。かつては独占企業主体かつ官僚的な業界でしたが、ロケットと人工衛星にかかるコストの下落により、現在ではそれが根底からくつがえされようとしています。ディープラーニング（深層学習）、モバイルコネクティビティ（無線接続）、センサー、3Dプリンティング、ロボット工学などの進歩の結果、これまでは増加していた事業コストが減少に転じ始めており、これらによって、今後は人工衛星の打ち上げや、着陸が可能なロケットの開発などが劇的に増加する可能性があります。実際、地球の周回軌道に打ち上げられ作動している人工衛星は、2022年末時点で5,000基をわずかに超えるほどですが、企業が今後10年間に打ち上げを計画している人工衛星は、すでにその10倍近くに達しています。衛星利用測位システム（GPS）ナビゲーションからクレジットカードの迅速なオーソリゼーション（利用枠確認）まで、人工衛星を経由するデータはすでに人々の目に見えないところで日常生活の基盤になっており、先進的な宇宙・衛星技術が提供するソリューションへの依存度は、これからますます高まることになるとみています。当ファンドでは、物流や警備、農業、電気通信、ドローンなどのシステムを劇的に変革し、そして、人類を火星に送り込むことまでも予想されているこの新しい宇宙時代へと人々を導く企業に投資し、その成長を享受したいと考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年6月8日～2024年6月7日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 11 (11)	% 0.061 (0.061)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用)	3 (3)	0.019 (0.019)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	14	0.081	
期中の平均基準価額は、17,487円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年6月8日～2024年6月7日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 —	千円 —	千株 255	千円 1,065,018
	外国	アメリカ	百株 45,845 (—)	千アメリカドル 61,686 (△ 192)	百株 131,574
ユーロ			千ユーロ		千ユーロ
ドイツ		—	—	430	819
フランス		—	—	1,089	6,073
オランダ		—	—	190	2,599
	香港	—	千香港ドル —	14,195	千香港ドル 13,887

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年6月8日～2024年6月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	36,329,293千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	52,003,894千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.69

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月8日～2024年6月7日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年6月8日～2024年6月7日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2024年6月7日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
機械 (100.0%)	千株	千株	千円	
小松製作所	751.9	496.8	2,246,529	
合 計	株 数 ・ 金 額	751	496	2,246,529
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	< 4.7% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
		外貨建金額	邦貨換算金額			
		千アメリカドル	千円			
(アメリカ)	百株	百株				
3D SYSTEMS CORP	7,795	8,963	3,934	613,099	資本財	
ARCHER AVIATION INC	39,801	29,683	10,181	1,586,346	資本財	
DEERE & CO	254	179	6,657	1,037,264	資本財	
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	1,070	840	18,672	2,909,424	資本財	
HEICO CORP	298	210	4,727	736,667	資本財	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	313	221	4,610	718,426	資本財	
VELO3D INC	39,568	—	—	—	資本財	
LOCKHEED MARTIN CORP	254	202	9,496	1,479,589	資本財	
MARKFORGED HOLDING CORP	47,679	35,272	1,587	247,309	資本財	
PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	—	2,344	5,576	868,907	ソフトウェア・サービス	
JOBY AVIATION INC	18,730	13,330	6,865	1,069,684	運輸	
SPIRIT AEROSYSTEMS HOLD-CL A	1,488	—	—	—	資本財	
TERADYNE INC	1,540	1,481	21,218	3,305,990	半導体・半導体製造装置	
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	122	110	4,338	675,954	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
UIPATH INC - CLASS A	8,604	3,760	4,607	717,836	ソフトウェア・サービス	
UNITY SOFTWARE INC	2,019	1,746	3,148	490,515	ソフトウェア・サービス	
AEROVIRONMENT INC	2,969	1,460	29,763	4,637,505	資本財	
AMAZON.COM INC	633	449	8,317	1,295,965	一般消費財・サービス流通・小売り	
ANSYS INC	144	153	5,000	779,079	ソフトウェア・サービス	
ELBIT SYSTEMS LTD	318	224	4,151	646,821	資本財	
BLADE AIR MOBILITY INC	24,812	25,662	7,801	1,215,521	運輸	
GARMIN LTD	747	494	8,103	1,262,613	耐久消費財・アパレル	
ALPHABET INC-CL C	747	493	8,809	1,372,595	メディア・娯楽	
IRIDIUM COMMUNICATIONS INC	5,598	9,809	28,036	4,368,406	電気通信サービス	
KRATOS DEFENSE & SECURITY	25,547	13,594	28,275	4,405,608	資本財	
MATERIALISE NV-ADR	805	686	350	54,636	ソフトウェア・サービス	
ROCKET LAB USA INC	14,913	21,665	9,467	1,475,185	資本財	
STRATASYS LTD	9,161	—	—	—	資本財	
SYNOPSIS INC	135	80	4,644	723,697	ソフトウェア・サービス	
TRIMBLE INC	6,071	3,295	18,313	2,853,466	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	262,146 29	176,417 27	266,658 —	41,548,123 <86.4%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
MYNARIC AGNAMENS AKTIEN O N	1,605	1,174	1,891	320,991	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,605 1	1,174 1	1,891 —	320,991 <0.7%>	
(ユーロ…フランス)						
DASSAULT SYSTEMES SE	3,025	2,104	7,924	1,344,751	ソフトウェア・サービス	
THALES SA	573	405	6,960	1,181,097	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,599 2	2,510 2	14,885 —	2,525,849 <5.3%>	
(ユーロ…オランダ)						
ATRIBUS GROUP SE	438	248	3,813	647,076	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	438 1	248 1	3,813 —	647,076 <1.3%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,643 4	3,933 4	20,590 —	3,493,917 <7.3%>	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
			外貨建金額 千香港ドル		邦貨換算金額 千円
(香港) JD LOGISTICS INC	百株 41,648	百株 27,453	23,582	470,472 運輸	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	41,648 1	27,453 1	23,582 — <1.0%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	309,438 34	207,804 32	— — <94.7%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2024年6月7日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 47,759,043	% 99.0
コール・ローン等、その他	469,949	1.0
投資信託財産総額	48,228,992	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(45,899,839千円)の投資信託財産総額(48,228,992千円)に対する比率は95.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=155.81円、1ユーロ=169.69円、1香港ドル=19.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年6月7日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	48,306,861,301	
コール・ローン等	349,208,944	
株式(評価額)	47,759,043,224	
未収入金	118,303,566	
未収配当金	80,305,495	
未収利息	72	
(B) 負債	227,357,385	
未払金	77,869,200	
未払解約金	149,488,185	
(C) 純資産総額(A-B)	48,079,503,916	
元本	25,235,542,155	
次期繰越損益金	22,843,961,761	
(D) 受益権総口数	25,235,542,155口	
1万円当たり基準価額(C/D)	19,052円	

(注) 当ファンドの期首元本額は35,567,376,037円、期中追加設定元本額は188,009,904円、期中一部解約元本額は10,519,843,786円です。

(注) 2024年6月7日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・スペース株式ファンド(1年決算型)	14,377,833,637円
・グローバル・スペース株式ファンド(年2回決算型)	9,280,554,092円
・グローバル・イノベーション株式ファンド(適格機関投資家向け)	1,432,133,314円
・グローバル・スペース株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)	114,098,712円
・グローバル・スペース株式ファンド(為替ヘッジあり・1年決算型)	30,922,400円

(注) 1口当たり純資産額は1,9052円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2023年6月8日から2024年6月7日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2023年9月8日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第19条、第20条、第21条、第26条)

○損益の状況 (2023年6月8日～2024年6月7日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	334,367,918	
受取配当金	329,383,254	
受取利息	22,018	
その他収益金	4,983,031	
支払利息	△ 20,385	
(B) 有価証券売買損益	8,468,387,682	
売買益	17,366,077,156	
売買損	△ 8,897,689,474	
(C) 保管費用等	△ 10,245,259	
(D) 当期損益金(A+B+C)	8,792,510,341	
(E) 前期繰越損益金	21,706,967,457	
(F) 追加信託差損益金	145,679,347	
(G) 解約差損益金	△ 7,801,195,384	
(H) 計(D+E+F+G)	22,843,961,761	
次期繰越損益金(H)	22,843,961,761	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。